

第476号

広報



あぐね

人	口
住民基本台帳人口と世帯数	
9月1日現在	
()は8月1日から	
人	口
男	29,583 (+56)
女	13,786 (+25)
世帯数	15,797 (+31)
	9,981 (+9)



61年

9月号

鹿児島県阿久根市鶴見町200番地

阿久根市役所編集発行 ——— 広報あぐね

産業振興の動脈

道路の改良整備 着々と進む

昭和六十一年度末には

市道の舗装率九五・二パーセント・改良率四二・二パーセントに

道路は市民生活に直結するものであり、また産業振興の動脈というべきもので、市政発展の基盤づくりの最重要施策であります。それだけに道路整備を望む市民の声は高く、本年度もそれに応えて市内のあちこちで道路の改良工事が進められ、昭和六十一年度末には市道の舗装率は九五・二パーセント、改良率は四二・二パーセントになる見込みであります。

▼赤瀬川線（市道）

赤瀬川地区の北部に位置し、国道三号と三八九号を結ぶ道路で、改良舗装工事により、さらに効用を高め、交通の円滑化を図るもので五十九年、六十年年度の改良工事に続き、本年度も延長八百十四

を事業費約一千六百万円で舗装されています。

▼山下弓木野線・妻井田線（市道）

文旦生産団地と広域農道を結ぶ農林業発展のための大切な道路であり、山下弓木野線の延長七百八十八メートルに側溝を取り付けて、また



ガードレールもとりつけられ改良された赤瀬川線



拡幅改良される上原桐野線

妻井田線の延長百六十メートルを六十年に続き舗装するなど総事業費約一千三百百万円で整備されます。

▼上原桐野線（市道）

線形が悪く幅員が狭いため、増大する交通量並びに通学道路として、これまで不便をきたしていましたので、本年度は事業費三千六百万円で家屋移転と延長二百二十メートルを幅員六メートルに拡幅改良し、その解消を図るものであります。



側溝もとりつけられ整備される山下弓木野線

誕生

おめでとう



出生児

保護者

区名

小村 功一	迫口 大將	黒川 真紀子	松本 崇海	梶尾 小百理	濱田 洋平	大瀬 沙弥香	迫口 菜津子	川俣 範明	楊之浦 晃仁	古川 真人	花木 かおり	陳尾 あゆみ	河南 誠子	栗林 裕也	野村 卓也	石原 祐也	川上 孝太	尾原 裕樹	畑中 伊織	太田 和寛	松永 真衣	中村 晃子	神之田 奈津美	恒吉 夏樹	福田 はる菜	村田 将人
勝 志	勝 志	庄 市	勝 徳	光 成	修 寛	耕 二	勝 義	良 文	勝 美	雅 昭	幸 誠	秀 文	忠 誠	秀 文	真 二	広 也	洋 一	徳 文	正 男	泰 寛	正 友	正 明	法 行	次 則	恵 一	敏 雄
(瀬之上)	(桐野下)	(上原)	(上原)	(黒之浜)	(瀬之下)	(大瀬)	(桐野下)	(脇馬場)	(楊之西)	(折口東)	(高之口)	(牧内)	(大丸)	(羽田)	(牧内)	(大丸)	(大丸)	(寺山)	(横手)	(大丸)	(瀬)	(波留)	(高松)	(永田上)	(高之口)	(大丸)

高之口地区・

白木川地区農道整備は

昭和六十二年に全完了予定

農業経営の向上を図る目的で、本年度も引き続き農道の整備が進められています。

▼高之口地区農道整備

当地区は畑地帯で実エンドウ、そら豆の生産地ですが、道路の幅が狭く急傾斜のため、生産物の出荷及び資材の運搬などに不便をきたしていましたので、県車基幹農道整備事業により昭和五十九年度から四か年計画で実施しています。

▼白木川地区農道整備

当地区は昭和六十年度から整備が進められ、本年度も改良延長一千五百四十メートルを事業費二千八百

本年度は改良延長四百四十メートルを事業費二千四百万円、整備し、全体工事完了（総延長一千四百二十八メートル、事業費八千六百万円）は昭和六十二年の予定であり、この道路整備により農業経営の向上が図られます。



舗装改良される高之口地区農道



整備が始められた白木川地区農道(鶴川内)

尻無地区 里道舗装工事は 完了

市道の認定基準に適合しない公共性の高い道路で、地域住民が環境の整備及び地域の発展を図るために改良する里道整備が本年度も行われています。

これは、市が補助金を出し、それぞれの地区で実施しますが、本年度は尻無地区の里道延長百メートル、事業費四百九十万円（市補助二百九十四万円）で、すでに舗装整備を完了しています。

また、波留地区の里道整備も本年度末までは完了することになっています。

市長室から

伝統芸能の 保存を

九月に入り、朝夕しのぎやすくなってきましたが、市民の皆さんいかがお過ごしでしょうか。ご存知のように、私、病氣入院していたおりました。このほど退院することができました。その間皆様の温かい激励を賜りありがとうございました。

さて、先日は八月二日に開かれます波留区の「神舞」が盛大に行われました。

波留地区の皆さん全員のご協力により「神舞」の由來とおり八年ぶりに開催され、見事に成功しましたことを大変喜んでおります。

最近、世の中が発達するにつれ、昔から伝わる郷土芸能がややもすると忘れがちになってしまふこの頃であります。今回のこの「神舞」の開催はその郷土芸能の良さを改めて認識させられ、こういう時代だからこそ郷土の文化としてしっかり守り育て、後世に伝えていかなくてはならない、強く感じた次第であります。

これも波留区の皆さん方の並々ならぬご苦労と踊り手の方々のご努力があったればこそだと思ひ感激いたしているところであります。

また、八月初旬に本市で開かれた全九州小学生ソフトボール大会では、臨本小学校の皆さんがセレモニとして郷土芸能「山田桑」を披露し、大きな拍手を受けました。

この「山田桑」も臨本地区に昔から伝わる伝統芸能であります。すが、絶やしてはいけないうことで臨本小学校ではこの夏休み期間中、六年生から五年生に受け継がせるための練習が真剣に行われたのであります。

昔から祖先の方々が大事に引き継ぎ、育ててこられた伝統芸能、私たちは今、度々この良さを改めて見直し、力を合わせて伝承していくことが祖先に対する感謝の念を深め、青少年の健全育成の面からも、また地区の発展や地域の交流、親睦にもつながるのではないかと考えています。ので伝統芸能の保存にご協力くださるようお願いいたします。

阿久根市長 川畑 強

鶴川内小学校

新校舎建設に着手

完成予定は来年の二月

鶴川内小学校の校舎改築が八月末から始まりました。

これは、昭和三十五年に建てられた木造平家建の校舎がだいぶ古く危険であるので、この校舎を取り壊し、新築されるものであります。

新校舎は、建設費約八千七百万



基礎工事が始まった鶴川内小学校新校舎

円で鉄筋コンクリート造二階建。面積は八百二十平方メートルで理科室、音楽室、給食室を除く六教室や職員室、図書室などの全てが新築校舎に入ります。

現在、子どもたちは校庭に設置されたプレハブで授業を行っています。来年度二月末に完成する新

校舎を大変楽しみにしながら勉強をしています。

B & G財団の体育館
プール・艇庫

阿久根市の所有に！

— 東京で譲渡式 —

B & G財団が設置し、市が管理していた総合運動公園内の体育館・プール（昭和五十七年度設置）と五色浜海岸の艇庫（昭和五十八年度設置）の譲渡式が八月二十三日、東京で行われ、このほど市の所有になりました。

譲渡式には、B & G財団から中北専務理事ら十人、当市からは新井助役ら三人が出席。譲渡式が行われた後、新井助役が「青年の健全育成及び市民の健康づくりと体力づくりの場として大事に使用させていただきます」と、お礼を述べました。



水泳教室でにぎわうB & Gプール

これは、施設の三年間の利用や管理状況によりB & G財団が決定するもので、体育館、プール、艇庫とも利用者が多く、よく管理されているということで今回譲渡されたものであります。

体育館は地域や職場の親睦を図るバレーボール大会などや、プールでは毎年、数百人が参加する水泳教室、また、艇庫では市内小中学校のカヌー体験学習など、三施設とも大変よく利用され、市民からも喜ばれています。

今後も総合運動公園の完成などにより、ますます利用者も多くなることはまちがいありませんが、市民全員の施設でありますので、これまでどおり大事に利用されるようお願いいたします。

一こめいふくを
お祈りします

死亡者 年齢 区名

長田 良美	72	(梓)	貫雄
原田 モク	73	(町)	耕一
鳴谷 八郎	66	(浜)	政十
折橋 巖	53	(弓木野)	暢子
富永 慶二	60	(折口東)	恵子
谷口 カワ	70	(尾崎)	国義
海平 才二	63	(一段)	和子
川崎 良正	82	(一段)	一枝
上鶴 キクマツ	79	(下桑)	庄吉
吉永 行雄	60	(牛之浜)	フル子
花田 垣雄	73	(川畑中)	エツノ
的場 厚志	71	(仲仁田)	フエ
柏木 光徳	76	(深田)	田上イチ
大進 イク	70	(大進)	明
久富 勝	73	(下村)	敬文
摩八重貞頼	92	(鶴之東)	マツカメ

交通事故相談日

十月九日(木)

市民相談室

十月一日は法の日です

法律無料相談

開催の案内

日時 昭和六十一年十月一日

午前九時三十分から午後

四時まで

場所 市民会館

内容 相続、売買、贈与、新築分筆、債権など民事一般



調印後、握手される
杉山農協長(三笠市・左)と西田農協長(三笠町・右)

北海道三笠市農協

阿久根市三笠町農協

北と南の「三笠」が 友好提携

同名がとりもつ縁

三笠町農業協同組合が北海道の三笠市農業協同組合と友好提携を結び七月十五日、調印式が行われました。

調印式には西田福七組合長ら役員十人が北海道の三笠市を訪れ、同市の市長をはじめ多くの農業団体関係者らの歓迎を受け、なごやかに行われました。

これは、農業機関紙「家の光」で農協婦人部の茶縁ナツ子さん(桐野上)が三笠の農業を紹介したところ、同名の「三笠」ということもあり、お互いの農協職員が手紙のやりとりを始めたのがきっかけで、北と南の「三笠農協」が友好提携したものです。

三笠市は北海道の中央部よりやや西側に位置し、旧炭坑地帯で人口約二万二千人。特産品は「スイカ」「メロン」「タマネギ」「トウモロコシ」などがあり、農協組合員数は三笠町(約一千三百人)よりやや少ない約一千人ですが、販売量などはほぼ同規模であります。

これまで、三笠市で五月に開かれた「Aコープ祭り」では、三笠町農協からの焼酎やみかん類、実エンドウなども並べられ、大変な好評を得ています。

西田組合長は「まず人の交流から始まり、次に農産物や観光、文化の交流へと発展させたい」と、大変期待も大きく、今年十一月に

は三笠市農協の皆さんが三笠町農協を訪れるのを関係者と共に楽しみにしています。

大口市・阿久根市観光行政交流会

“お互いに交流を図り 周年観光をめざそう”

観光協会主催

大口市・阿久根市の観光行政交流会が八月二十五日、マリナーズビルで行われました。

これは、十数年前阿久根市と大口市の青年商工クラブ(現在の青年会議所)が県内のクラブの中でも特に仲が良く、それがきっかけとなり現在の交流会に発展したものであります。

この交流会は、毎年開催地を交互に行っており、今年で十回目になります。

交流会では、当市から川辺収入役や富吉市議会議長ら二十二人が、大口市の二本助役や永田市議会議長ら十八人を歓迎。当市の下関観光協会会長らが「大口市は山、阿久根市は海を中心とした観光地であるが、お互いに交流を図りながら研究して、共に周年観光をめざしましょう」と、あいさつ。これに

応えて大口市の木村観光協会会長らが「昔から大口市と阿久根市は仲が良く、交流が図られている。この会がますます発展し、お互いの



楽しく、にぎやかに行われた交流会

観光発展のためにがんばりましょう」と、述べられ、この後懇親会が和やかに行われました。

大口市の皆さんは交流会の前に虎印スポーツ工業や現在建設中の栽培漁業センターを見学され「グリーン工場も栽培漁業センターも観光見学のひとつとして大いに役にたつのでは」と、感想を述べられていました。

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前9時から午後5時までです。急患の力以外はお遠慮ください。

- | | | | | | |
|------------------|-----------------|----------------|------------------|-----------------|---------------|
| 有村産婦人内科③4180(栄町) | 喜多医院②0038(大丸) | 浜之上医院⑤2600(馬場) | 上園医院③1055(町) | 林胃腸科外科③3639(大丸) | 黒木外科⑤0200(下村) |
| 9月21日 | 9月23日 | 9月28日 | 9月28日 | 9月28日 | 9月28日 |
| 大塚眼科②0306(浜) | 内山病院③1551(高松) | 石原医院⑤0045(橋之西) | 10月10日 | 10月10日 | 10月10日 |
| 前井耳鼻咽喉科②0040(栄町) | 喜多医院②0038(大丸) | 10月12日 | 10月12日 | 10月12日 | 10月12日 |
| 阿久根内科②0578(琴平町) | 北国外科②0016(町) | 10月19日 | 10月19日 | 10月19日 | 10月19日 |
| 有村産婦人内科③4180(栄町) | 林胃腸科外科③3639(大丸) | 黒木外科⑤0200(下村) | 有村産婦人内科③4180(栄町) | 林胃腸科外科③3639(大丸) | 黒木外科⑤0200(下村) |

阿久根市を代表する郷土民芸

神 舞

四時間の神話に 7,000人の見物客酔う

「田の神舞」「將軍舞」と次々に行われ、最後は真っ赤な着物と鬼の面をつけた、この神舞のクライマックスというべく「鬼神舞」が踊られ、見物客らは延々と続いた四時間の神話に、盛んな拍手をおくっていました。

八年毎に開かれる波留区の神舞が八月二十八日、南方神社で行われ、約七千人の見物客を沸かせました。
神舞は、かわいい子どもたち約六十人が太鼓や鐘を手にもち、一せいにたたく「露払」から始まり「神おろし」「びん舞」「弓舞」「剣舞」



③ 四人の中学生によるびん舞



② 集合された神々にお礼をいう神おろし



① かわいい子どもたちによる露払



⑥ ユーモラスな踊りに見物客が沸いた將軍舞



④ ヨロイに矢をさし弓を手に勇壮な踊りの弓舞



⑤ 真剣を手に一糸みだれぬ剣舞



⑧ 途中降りだした大雨の中を勇壮に舞う鬼神



⑦ 仲よくオンジョとヨメジョが踊った田の神舞

スポーツ

市ソフト協会の努力で大会誘致実現 全九州小学生 ソフトボール大会が盛大に開催

阿久根小チームは準々決勝で惜敗

全九州ソフトボール大会が八月九日、十日の二日間、総合運動公園ソフトボール場と総合グラウンドで盛大に開催されました。これは市ソフトボール協会（田



勢ぞろいした九州内の強豪小学生チーム



セレモニーとして披露された熊本小の山田菜

中「秀会長」が、これまで盛んに誘致運動を行い、その努力が実り阿久根市で実施されたものであります。

開会式では新井助役が「皆さんのお越しを地元の子どもたちと共に歓迎いたします。各県の代表として期待に応えてください」と歓迎のあいさつ。セレモニーでは熊本小学校の「山田菜」を披露し、約七百人の子どもたちと応援に来られた約三百人の各県の父兄の皆さんも盛大な歓迎に喜んでいました。

大会には、九州各県の子選を勝ち抜いてきた強豪チームで男子が二十八チーム、女子十チームが参

加。当市からは開催地ということで阿久根小学校ソフトボールスポーツ少年団（男子）が参加し、一回戦は不戦勝、二回戦は沖縄県の長浜チームを三対一で下し、準々決勝では長崎県の池田チームと対戦しましたが二対〇で惜しくも敗れました。優勝は男子が宮崎県日向市の堀一方チーム。女子は熊本県八代市の八千代チームでした。なお、市協会では今後も大きな大会を当市で開催したいとほりきつていきます。

猛暑の中 熱戦展開 （小学生ソフトボール） 強い佐潟チーム三連覇 （中学生バレーボール） 鶴川内が二年ぶり優勝

一市子ども会球技大会一

第十二回市子ども会球技大会が八月十七日、総合グラウンド、勤労者体育センター、B&G体育館で開催されました。

ソフトボールは、各校区で予選を勝ち抜いたチームなど十五チームが参加。決勝戦で佐潟チームが大丸チームを三対一で下し、見事



熱気でムンムン 中学生バレーボール

三連覇を成し上げました。バレーボールも予選を勝ち抜いたチームなど十三チームが参加。決勝戦では鶴川内チームが的井チームを二対〇で下し、二年ぶりの優勝をしました。二位以下の成績は次のとおりです。
（ソフトボール）
二位 大丸 三位 波留 山下
（バレーボール）
二位 的井 三位 尻無中 高松

阿久根海洋少年団 見事 総合優勝

日本海洋少年団九州大会一日本海洋少年団九州大会が八月八日から十日までの三日間、枕崎市で開催されました。

大会には当市から参加した阿久根海洋少年団や枕崎、熊本県の牛深、宮崎県の南郷海洋少年団など

八チーム、約三百人が参加して行われました。競技は手旗受信や水泳などが行われ、手旗受信では阿久根海洋少年団三十五人の参加中、三十二人が百字受信で満点を受けた。また水泳では他の海洋少年団チームを大差で引きはなし、見事総合優勝しました。



優勝した阿久根海洋少年団

競技に 必援に 全員参加しましょう

第10回市民運動会

★期日 10月10日(金)体育の日
雨天の時は12日(日)

★場所 総合グラウンド

二十一世紀を担う自分たち 今がんばらなくては

熱弁をふるう

市青少年弁論大会

八月十一日、鶴川内中体育館で市内小中学校の代表者による弁論大会が行われました。

この大会は今年で四回目を迎え小学生の部に十一人、中学生の部に七人が参加。会場に集まった約二百人の父兄や友だちを前にして自分の訴えたいことを五分以内にまとめて熱弁をふるいました。

成績は次のとおりです。(敬称略)

▼小学生の部

市長賞 田原寛(山下小) 議長賞 斎藤曉壽(西目小) 教育長賞 中野敏忠(鶴川内小)



聴衆者を魅了した弁論大会

▼中学生の部

市長賞 大尾恵(鶴川内中) 議長賞 寺園大平(鶴川内中) 教育長賞 川井由紀子(三笠中)

今月号と来月号にそれぞれ市長賞の論文を紹介いたします。

市長賞(小学生の部)

阿久根に

新しい特産物を

山下小 六年 田原寛



山下にリンゴ園があると、友達から聞いたのは、七月に入ってからでした。「まさかこうそだろう。」と思って先生に聞くと、測上というおじさんが作っていることが分かりました。「へえ、北の特産物が南でもできるなんて、すごいなあ。」と思っていました。たまたま、南日本新聞に「南国リンゴ 真夏に実る。」という見出しで、大きく写真と記事が出ているのを見ました。それは、栗野町のリンゴ園のことでした。「栗野島でも、本当にリンゴができるんだ。」と知り、

ますます興味を覚えました。そこで、このリンゴと取り組んでいる測上のおじさんに、直接聞いてみることにしました。

おじさんのリンゴは、やっぱり栗野町ののと同じ品種で、パイオテックロジによる、暖地に向いた新種だけど、青森などのリンゴと全く同じリンゴでした。今、栽培しているのは、北牙・千秋・紅月・ニュージョナゴールド・北の幸・つがる、夏香の七品種で二百二十本です。

阿久根の暖かい気候でリンゴができるのだろうかという疑問には、「リンゴ栽培は年間平均気温が十九度以上あったらめで、阿久根の平均気温は測候所の調べで十八・三度、山下は十八度くらいだから大丈夫。阿久根がリンゴの栽培の南限だ。」と教えていただきました。

—— 中略 ——

リンゴ畑に行ってみました。竹山を開いた段々畑になっていて、日当たりのよい場所に全部で七段、八十アールの広さです。三メートルぐらいの間かくで二列に並べて植えてあり、有機肥料のにおいがふんばっていました。入口には、それぞれに品種名を書いた木の立て札があり、品種ごとに葉の形や木の枝ぶりががっています。花が咲き、実がいつぱいいた光景を想像したら、すごく楽しくなり

ました。

今、阿久根の特産物と言えば、尾崎の文旦、桐野のキウイフルーツ、海産物でいわしの丸干しなどがありますが、まだまだ種類が少ないと思います。これに、阿久根リンゴが加わると、季節的にも一年中切れ目なく特産物の出荷が続き、種類が増えます。全国、早いリンゴの出荷は、価格の面からも大変有利です。

阿久根には、山下に似た地形、気候の所も多いと思います。山下の南国リンゴの栽培が成功すれば、もっと阿久根のリンゴ栽培面積を広げることができそうです。阿久根の新しい特産物となることは明らかです。測上のおじさんは、南国リンゴを栽培するのに三年間も事前研究をされて、絶対の自信を持って取り組んでおられます。阿久根の新しい特産物のために「おじさん、がんばって」と声援を送ると共に、こうした新しい領域に挑戦しておられるおじさんを尊敬します。測上のおじさんのような人達が増え、グループをつくって特産品作りの研究を進めてくだされば、阿久根市はもっととっと発展すると思います。自分の利益のためばかりでなく、地域の発展につながる産地づくりにがんばる人達が増えることを期待します。

図書館だより

今月の新着図書



としよかんだより

- ▽佐藤雅美「薩摩藩経済官歴」
- ▽澤地久枝「私の青春日めくり」
- ▽嵐山光三郎「同窓会」▽新井千裕「復活祭のためのレクイエム」
- ▽吉岡忍「墮落の夏」日航123便事故全記録▽林真理子「胡桃の家」▽北杜夫「優しい女房は殺人鬼」▽井上光晴「褐色のベスト」▽山村美紗「京都花見小路殺人事件」▽黒川博行「キャッツアイ」ころがった▽長尾誠夫「源氏物語人殺し絵巻」▽上坂冬子「貝になった男」▽和田順太「真珠湾攻撃の予言者と実行者」▽家田莊子「極道の妻たち」▽五木寛之「ガウディの夏」▽桐島洋子「猫のように」なみやかに地球を歩こう
- ▽生島治郎「ブラック・マター」
- ▽島尾敏雄「日の移ろい」続
- ▽三浦朱門「中央公論」一〇〇年を読む▽近藤敏一「仏陀を賣う」▽五木寛之「旅の幻燈」

阿久根歌壇

折田 憲司 選

（秀逸）

ふためきて救急車呼ぶ妻の声聞き
つつ耐ふる時間の長し

赤瀬川 海平 三歳

（評）

突然の発作に人は動転し苦痛に
喘ぐ、薬は短く苦は長く感ずるの
は凡夫の常であるが生身の詠嘆は
切実である。

（佳作）

それぞれ位置にて明けし山の雲
かがやきながら移ろひゆけり

本町 河南 節子

文読みし眼鏡のままに著とれば腕
の飯粒輝きて見ゆ

脇本 赤崎 タエ

抜け読む新聞にありし蛾一二指につ
ぶすも或いは罪か

高松 勝目 悦子

来の間の星あかりにて明けしとき
愛宕の山に出てし眉月

段 津瀬 紀夫

水、水と悲しかりながら息絶えし
被災者あはれ今日原爆忌

脇本 京田 文美子

この命終らば如何になるべしと思
ふことなく一生過ぎゆく

大丸 橋崎 幸

釣好きの夫は目にやけ我がそばに
太いびきをかきて眠れり

鴻 川 知 ヨツ

梅雨の朝のユンボの音すさまじ
くたちまちにして家は壊れぬ

赤瀬川 下田 京子

自河の宿にも薩摩焼ありて酔ひ
つつ東北訛に話す

浦 兼子 孝光

ホノルルに二日て航くとふ漁場に
来て延縄百軒夜の海に投ぐ

愛媛 小島幸太郎

降港告ぐ夫の便りを読む窓辺嘆き
さかりたる紫陽花の花

愛媛 小島 和子

背伸びして障子破りしこの孫は吾
に氣付きて笑まひ振り向く

大林 春田 力也

久びきに帰るし息子が貼くれし
湯あがりの背のサロンバス匂ふ

上原 宮原 範子

草取りを終えし夕べは快し広き庭
あまねく撒き水をする

本町 折田 順子

若く死にし義弟の遺稿読みをれば
故なく熱く胸せまり来ぬ

赤瀬川 達夫 律



サークル紹介 ③

コットンクラブ

（手芸）

私ノ手作り派

たった一枚の布が、いろいろと
形を変え、自分の好みに出来上が
った時の嬉しさや、知人にブレゼ
ントした時の喜ばれたに味をし
め、昨年婦人の家の定期講座終了
後、若松先生のご好意により、現

在まで続いているコットンクラブ
です。

最初ミシンの使い方さえ知らな
かったのに、今では、自分の持ち
物はほとんど手作りです。スカート
やワンピースにも挑戦できるくら
いになりました。

コットンクラブに入ると婚期が
遅れるという、ちまたの噂をよそ
に、すでに五人も結婚退会という
輝かしい栄誉を得て、今度はわが
身とばかりに、大躍の夜、時間せ
つせと頑張っている私達です。
一度遊びにいらっしやいませんか。

あくねの

みんなわ ⑤



船ゆうれい(2)

昔、琉球通いの河南源兵衛船
が、陸地から遠く離れた波の荒
い海を夜走っていました。鉢巻
き姿の船ゆうれいが、「友達に
なろうよ、同志になろうよ」と、
船べりにすがりついてきて、亡

者の仲間に入りようとしてまし
た。

この鉢巻き姿の船ゆうれいは、
真夜中を過ぎる頃には、両方の船
べりにびっしりすがり着いて、口
口に、「柄杓をかせ、柄杓をかせ
」と、せがむのです。

源兵衛船ではいつも百個位の底
無し柄杓が備えてあったので、亡
者が柄杓をかせとせがむと、船員
たちは「よし、よし」と全部の
亡者に底無し柄杓を渡します。す
ると、亡者たちは底なしとも知ら
ずに、喜び勇んで海水の汲み入れ
を始めます。片手で船べりをつか
み、片手に柄杓を持って、一生懸
命汲み入れる姿は、これが亡者だ
ろうかと思われる有様でした。

こうして 船ゆうれいの亡者
たちは、疲れも見せないで、せつ
せと水汲みをします。その内東
の空がはの白く明け初めまると、
いつの間にか、つ消え、つ消
えて、夜明けと共に、その姿は
みんな消えてしまふのでした。

船ゆうれいというのは、海の
事故で亡くなった人の霊が、お
もいがけない災難のくやしきで
その場に残留して、後から迷い出
るのだといわれています。
お盆やおみそかの晩に海に
出ると、船ゆうれいにあって亡
者たちに悩まされるといわれて
います。
(阿久根のむかしばなしより)



広 場

③1211内214へ



「鬼さんこちら 手の鳴る方へ」と、手をたたきながら逃げます。鬼は逃げる者をつかまえて、だれであるかを当てます。当たった者が次の鬼になります。

ジャンケンで鬼をきめます。負けた者が鬼になります。鬼になった者は、手ぬぐいで目かくしをします。鬼でない者は

目かくし鬼

むかしのごとも
あそび ③9

水産教室開講

女子生徒が 初めて参加

気象学など来年三月まで受講



初めての手旗信号に思わず笑みがこぼれる

漁業後継者育成事業の一環として、毎年実施している水産教室が、今年も八月七日に開講し、最初の教室が九日までの二泊三日間、阿久根大島で行われました。

この教室は、三漁協（阿久根市黒之浜、西目）と市水産課で行っており、今年で「二」回目。これまでは男子生徒ばかりの教室でしたが、今回は鶴川内中学校の岩元

陽子さんら女子生徒十人を含む中学三年生三十二人が受講。

教室の一日目は手旗信号やガザミの放流。二日目は初歩的な航海学や水難救助法。最終日の三日目には網の取り方や結び方などを学び、中学生最後の夏休みの思い出をつくっていました。

教室は来年の三月まで行われ、水産試験場の見学や料理教室、気

ふるさとのおじいちゃん



野崎 澄さん(83)
協本馬場区

「毎日、朝6時から牛の世話をするのが日課で、まだ若い人に負けない気持ちで頑張っています。」

がんばっています



高原 英子さん(23)
鶴川内 長谷区
内山病院 看護婦

「患者の皆さんへの思いやりを大事にしています」

土星の輪が はつきり 見えたよ

「夏の星座教室」に感激

夏休みを利用して星座の学習をし、天体観測を通して宇宙について関心を高めようと八月七日、八日の一泊二日、青年の家で「夏の星座教室」が行われました。

この教室は今年が三回目で、市内の小学校五年生と中学校一年生の四十九人が参加。講師は県立博物館の永正重俊先生と長島町教育委員会の久保清文先生の二人。

昼は星図の見方や天体観測の基本などを受講。夜八時から四台の天体望遠鏡を使って、夏の夜空をいっぱいにうめつくした星の観測



「私にも早く見せて、天体望遠鏡は大モテ！」

を行い、どの児童、生徒も「土星の輪が見える」「木星がきれい」と、感激していました。

ハイ 元気だよ



尻無 裕美ちゃん(3歳)
友 紀ちゃん(7ヵ月)

大川尻無中区 尻無良輝さんの長女・二女

「みんなから好かれる やさしい人に
育ってほしい」

美津子さん(お母さん)

英語に親しむつどい 生の英語と 楽しく会話

—市内の中学生参加—



Let's Enjoy Our English Meeting

迫力ある英語の応援を楽しく受講



みんなの

行事・催し物など
お寄せ下さい。

日頃学習した英語で外国の人との英会話を通して、英語に対する関心を高めようと、八月四日から五日までの一泊二日間、青年の家で「英語に親しむ集い」(市教委

主催)が行われました。

この集いは今年で三回目。講師は、今年四月、アメリカから県教育委員会へ英語指導主事として来られた女性のニコラ・ヒルさん(22)とヒバリ・ローレンズさん(22)の二人。受講参加者は市内の中学一年から三年までの五十六人。

本場の英語に最初とはまどいを見せたい生徒も、身ぶり手ぶりでわかりやすく教える先生にしたいにははじめ、英会話を楽しんでいました。

また、レクリエーションではアメリカンフットボールの応援などを行い、生徒もアメリカにいるような気分を味わっているようでした。

大口市・阿久根市児童交歓会

山と海の子ともが仲よく交流

—ライオンズクラブ主催—

ライオンズクラブ主催による大口市と阿久根市の児童交歓会が八月五日、六日の一泊二日、青年の家で行われました。

この交歓会は両ライオンズクラブが八年前に姉妹盟約を交わした

のをきっかけに、毎年交互にお互いの児童を招いているもので、今年も阿久根ライオンズクラブが愛知町の本城小学校六年生二十七人を招待しました。

本城小学校の児童たちは、まず市役所を訪ねた後、阿久根大島に渡り、ボートなどに乗り楽しみました。

このあと青年の家で、当市から参加した阿久根海洋少年団三十二人の歓迎を受け、交歓会が行われました。

交歓会では、海洋少年団が本城小の児童にカヌーの乗り方を教えながら一緒に楽しみ、また夜はライオンズクラブの皆さんも加わって、レクリエーションやキャンプファイアなどに楽しみ、山の子と



交流を深めた阿久根と大口の子どもたち



ガンバレ、お母さんと楽しく二人三脚

お母さんと 楽しく運動会

—母子事務運動会—

「お父さんはいないけど、みんな力を合わせてがんばろう」と、八月十七日、市体育館で母子福祉会(山下ヒサ会長)主催の運動会が行われました。

この運動会は今年が十回目でお母さんや子どもたち約百五十人が参加。校区ごとに四組にわけられ、子どもよりもお母さんが積極的に参加した「アメ食い競争」や「二人三脚」などの十二種目が行われ、また、中学生の子どもが競技の手伝いをするなど、ほほえましく楽しい運動会でした。

8月の市内交通事故

()は前年 累計

1月から8月まで

発生件数	23 (23)	110
死亡者数	0 (1)	2
傷者数	36 (25)	138

ワンちゃんの
引き取り

9月24日

10月7日・16日

午前10時～10時30分

保健センター

消防

ミニニュース



()は一月から八月まで
八月の火災発生数 5 (12)
救急車出動回数 66 (43)

労働保険への加入は

もうお済みですか？

労働者を一人でも雇用している事業所は、事業主、労働者の意思の如何にかかわらず、労働保険（雇用保険、労災保険）に加入しなければなりません。

ただし、個人で五人未満の労働者を雇用する農林水産業の事業所は任意加入です。

詳しくは、出水公共職業安定所阿久根出張所（33400）におたずねください。



市営住宅入居者募集

市では、今後空家になる市営住宅の入居者を募集します。

申し込み受付は九月八日から三十日まで、都市計画課建築係へ。詳しくは、建築係へおたずねください。

行政書士試験

試験日 十月二十六日(日)

会場 鹿児島市

受験資格

(1)高等学校を卒業した者、その他大学に入学する資格を有する者

(2)公務員として行政事務を担当した期間が通算して三年以上になる者

(3)知事が前号に掲げる者と同等待以上の知識及び能力を有すると認める者

技能検定試験

実施職種

配管、建築大工、鉄筋施行など二十七職種

試験実施期間

昭和六十一年十一月二十九日から昭和六十二年二月二十二日まで

受付

十月六日から十七日までに、都市計画課建築係へ。

消化器の悪質訪問販売に注意を!!

最近、消化器の悪質訪問販売により一般家庭の被害が増えています。購入される時は、信用のある市内の販売店をご利用ください。

社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

(敬称略)

家治志(波留) 西田サエ(飛松)

田上ミイ子(小瀬) 丸塚貞雄(米次) 海平和子(段) 富永恵子(折口東)

篤志寄付

次のかたから寄付をいただきました。ありがとうございます。

●崎玉県の松尾国利さんから広報送付のお礼として寄付。

給油所の日曜当番店

9月21日	阿久根石油(鶴見町) ②0318
	寺下石油(楊之西) ⑤2077
	富吉石油(佐瀬) ②1418
9月28日	阿久根石油(臨馬場) ⑤0038
	丸善石油(新町) ②0266
10月5日	落合石油(上原) ③0055
	南園殖産(鶴見町) ②0362
10月12日	阿久根市農協(折口) ⑤1302
	阿久根石油(港町) ③2430
10月19日	折口石油(折口) ⑤0251
	阿久根市農協(波留) ②0075

編集後記

阿久根市における最も大きな郷土民芸である波留区の神舞を見て伝統行事の厳しさと大切さを感じた。

今回も踊り手をさがし集めるのに苦労されたそうである。しかし、区民の伝統の灯を消してはいけないという強い気持ちで、二十八人の踊り手を見つけ、一週間の宮ごもりに入る事ができたのである。

宮ごもりの際行われる海水くみでは、二十八人の踊り手は浴衣を身につけ、前方だけを見つめ歩く姿は、何ともいえない昔ながらの男の気迫が感じられた。

練習は前日まで先輩の厳しい指導のもとに行われ、声を出す踊り手は一度声がかれてからが良い声ができるということで大声での猛練習が続く。

これらの区民と踊り手の努力が実を結び、神舞も無事、盛大に終了することができた。

「先輩たちが伝承し、守り続けてきた郷土民芸。絶対になくしてはいけない。存続しなくては」その強い願いが今回の神舞を成功させたと思っている。また、このことが区民の結束力と区の発展につながる大きな礎となることを祈らずにはられない。(英)